

日本音楽知覚認知学会 平成 29 年 (2017 年) 第 1 回理事会 議事録

日時：平成 29 年 (2017 年) 6 月 3 日 (土曜) 午前 10 時 30 分～12 時 45 分

場所：日本大学芸術学部 江古田キャンパス

参加者 (敬称略)：中島祥好, 山崎晃男, 荒川恵子, 森下修次, 西村明, 羽藤律, 高橋範行, 小川容子, 吉野巖, 谷口高士, 松本じゅん子, 川上央, 菅千索, 亀川徹, 星野悦子, 三雲真理子, 岩宮眞一郎, 三浦雅展

(オブザーバー) 小堀聡, 生駒忍, 正田悠, 森数馬

0. 新メンバーの紹介

最初に, 今回の理事会で新たに参加された小堀聡先生 (龍谷大学), 正田悠先生 (立命館大学), 森数馬先生 (大阪大学) が紹介された.

議題

1. 理事会顧問、監事の推薦について：中島祥好 (会長)

大串健吾理事が理事を引退したい意向が説明され, その後, 同理事を理事会顧問に推薦することが承認され, 就任することが承認された. また, 前会長の星野悦子理事の監事就任が承認された.

2. APSCOM 6 の開催準備について：荒川恵子常任理事 (APSCOM 大会組織委員長)

APSCOM6 の準備状況はおおむね順調に進んでいることが報告された. 申し込み数として, シンポジウム 2 件, 口頭発表 59 件, ポスター発表 52 件であることが報告された. 3/25 に開催されたプレイベントでは参加者が 70 名ほどであったことが報告された. 複数の助成金に応募したものの不採択であったが, 複数の企業より寄付があったことが報告された.

3. 国際活動支援基金の有効活用について：吉野巖常任理事 (総務担当)

当該基金の使用方針について, 当該基金活用ワーキングより使用方針について提案された. 35 歳以下の常勤職についていない若手の研究者や博士課程の学生を対象に支援する方針が認められた. また, 招待講演費用の支出については, 支出の度に理事メーリングリストで確認する方針が承認された. APSCOM 分担金については, APSCOM の運営状況を鑑み, 定常支出ではなく, 今回のみの支出とすることを確認した.

4. 平成 29 年度予算案について：川上央常任理事 (事務局長)

予算案について議論された. 例年との違いについて, 郵送費の値上げに伴い, 資料発送費を含む刊行費を増額すること, および発表会資料印刷費を最近の状況に倣い減額する案が説明され, 承認された.

5. 会費未納者の扱いについて：川上央常任理事 (事務局長)

3 年以上会費未納の方については, 除名とする案が認められた. また, その処理の流れをまとめることが認められた.

6. 会員の動向について：川上央常任理事 (事務局長)

会員全体の数については微増であることが報告された. 特に学生数が微増であることが報告された.

7. 次回秋季研究発表会について：谷口高士常任理事, 松本じゅん子理事 (研究発表会担当)

11 月 4, 5 日に松江テルサ (会場担当：安井希子理事) で開催されることが承認された. また,

来年の春季研究発表会は、佐渡（会場担当：森下修次理事）で開催する方向で検討されていることが報告された。

8. 第15回 ICMPC 大会について：山崎晃男副会長（国際渉外担当/APSCOM 副会長）

2018/7/23-28 にオーストリアのグラーツで開催されることが報告された。その後、遠隔地に中継局を置いて、遠隔からの参加を可能とすることについて、日本、中国、韓国にも協力が求められていることが説明された。本会としては、数々の議論があるものの、情報が少ないため、協力の可否については判断困難とした。

9. ポスター発表選奨について：荒川恵子常任理事、三雲真理子理事（学会賞担当）

ポスター発表選奨の推薦方法について確認した。今回のポスター発表会については、発表会前に提出締め切りについての告知を行なうことを確認した。

10. 論文賞について：荒川恵子常任理事、三雲真理子理事（学会賞担当）

対象となる5本の論文に対して6名の選考委員の選定が進行中であることが確認された。また、選奨の選考委員の依頼については、原則としては理事メンバーから選出するものの、理事会メンバー以外からの選出も可能とすることが承認された。

11. 論文投稿の電子化について：星野悦子常任理事（学会誌編集委員長）

J-STAGE の投稿システムの導入に関する検討状況が報告され、1年間15000円の費用の支出と導入について承認された。

12. その他

APSCOM 実施時の現場でのネットワーク環境の準備状況について議論した。その後、ホスト校のネットワーク管理部局との相談を今後も続けることが確認された。

報告

1. 平成28年度決算報告：川上央常任理事（学会事務局担当）

原案通り報告された。

2. 平成28年度監査結果：岩宮眞一郎監事

1で報告された会計報告について、関連資料および領収書が確認され、適切に処理されていることが報告された。

3. 会員数状況報告：川上央常任理事（学会事務局担当）

会員数について原案通り報告された。

4. 平成28年度事業報告：中島祥好（会長）

2016年春季は九州大学大橋キャンパスにて開催され、2016年秋季研究発表会については、日本音響学会音楽音響研究会との共催として筑波大学で開催されたことが報告された。

5. 平成28年度秋季研究発表会 ポスター発表選奨授賞者について：荒川恵子常任理事（学会賞担当）

同発表会では山口翔也、西森祐実、三浦雅展（龍谷大学）による発表が授賞となったことが報告された。

6. 平成29年度春季研究発表会 研究選奨選考委員の委嘱について：荒川恵子常任理事、三雲真理子理事（学会賞担当）

今回の発表では4名の選考委員に委嘱されたことが報告された。

7. 「音楽知覚認知研究」の発刊と今後の予定について：星野悦子常任理事（学会誌編集委員長）

同誌について、昨年度の22巻1号は2016年10月、2号については2017年4月に発行済みであり、本年度は23巻1号を今年9月に、2号を来年3月に刊行予定であることが報告された。

8. 学会HPへの原著の掲載について：星野悦子常任理事（学会誌編集委員長）

これまでの全原著論文の全論文の無料公開に向けたPDF化について、進捗状況が報告された。特に著作権に抵触しないか否かのチェックをし、その後、問題のないとされた論文については公開の方向で検討することを確認した。また、問題のあると見受けられる2本については、編集委員長より著者に連絡し、修正を依頼することで調整することとした。

9. 次期役員選挙の開票結果について：亀川徹理事（選挙管理委員会委員長）

原案通り、報告・承認された。特に投票数については例年より若干少なかったことが報告された

以上